

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：病理細胞検査研究班 提出日：2019年5月27日 報告者：中村 広基

行事種別	講演会	行事番号	190001269
開催日	2019年5月18日(土)		
時間	開始	15時00分	終了 17時00分
場所	リップルスクエア (所在地 名古屋市東区)		
テーマ	切り出しと薄切・特殊染色		
生涯教育履修点数	専門教科 20点		
司会	西尾市民病院	中村 広基	
講師	JA愛知厚生連 江南厚生病院 名古屋市立大学病院 愛知医科大学病院	川崎 真紀 松井 竜三 都築 豊徳	
内容	<p>講演1 「薄切のポイントとコツ」川崎 薄切のポイントという演題で講演を行った。実技として一番初めに壁にあたりやすい薄切技術について、シワの伸ばし方など How To 形式の講演であった。</p> <p>講演2 「主な特殊染色の原理と方法」松井 特殊染色の種類は多く、遺伝子検査や免疫組織学的検査が台頭した現在でも、数多くの染色が依頼されている。そのような中ではあるが手染めが主流であり染色原理の理解や染色工程の行間にあるちょっとしたコツで、染色の成否が分かれば、それが診断に影響を与える重要な技術である。今回は依頼される頻度が高い染色について、AiCCLS で発行している病理の染色リーフレットをもとに解説を行った。30分という短い時間であったために駆け足の講演となってしまったのが残念であるが、解説とちょっとしたコツの紹介など十分な内容の講演であった。</p> <p>講演3 「切り出し～病理医の立場から～」都築 病理医は病理標本からどういった内容を読み取り、診断として臨床へ返すのかその内容と、十分な診断を行うための切り出し方法、固定の重要性など、病理医目線、つまり診断につながる切り出しの方法と技術をご講演いただいた。</p> <p>テーマを切り出しと薄切・特殊染色として行い、5月という人事異動が行われるであろう時期も考慮に入れた内容を設定した。今回の3つの講演でベテランから新人まで90名という非常に多くの会員に参加頂いて十分な学びの場になった。</p>		

参加者	総数：91名（会員89名、県外会員0名、非会員0名、賛助会員0名、学生0名、その他2名(申請中1名、講師1名))
共催、後援など	

2016.6.28